

第25期 国立市社会教育委員の会（第18回定例会）会議要旨

令和6年10月28日（月）

[参加者] 小菅、生島、寺澤、加藤、矢野、栗畑、根岸、中田

[事務局] 井田、楠本、高橋

生島議長 それでは、第25期国立市社会教育委員の会第18回定例会を開会いたします。

本日は谷口委員から欠席の連絡をいただいております。そのほかお二方、まだお見えになっていませんが、恐らくそのうち来られるかと思っておりますので、始めさせていただきます。定数には達しております。

それでは、本日の配付資料につきまして、事務局から御説明をお願いいたします。

事務局 事務局です。

配付資料の確認です。まず、次第が乗っている山を御覧ください。1枚目が次第になりまして、2枚目が、都市社連協第2ブロック研修会の参加者名簿です。資料2が、A3の1枚物でタイムテーブルです。それから、資料3が研修会の司会台本となっております。資料4が、グループディスカッションのグループ表になります。その次ですが、こちらは資料番号が記載してありませんが、資料5として、A4の1枚で横のものです。スライドの4分割のものになります。資料6-1が、ブロック研修会の開催要項、6-2がアンケートです。本日、資料が多くなっていますが、不足等ございますでしょうか。

続きまして、議事録の山を御確認ください。一番上が前回の第17回定例会の議事録です。こちらは、内容について確認いただきまして、修正等がなければ市のホームページに掲載させていただきます。その下が「公民館だより」、「図書室月報」、「いんふおめーしょん」、「オアシス」。こちら、次第には記載していませんが、「東京の地域教育」という冊子をおつけしております。その次が、都社連協の交流大会の開催通知関係を2枚おつけしております。

資料については以上になります。

生島議長 ありがとうございます。

それでは、次第2の東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会についてに入ります。

いよいよ、企画してまいりましたブロック研修会ですけれども、来月11月9日に開催になります。これが直近の会議ということになりますので、本日は、ブロック研修会当日の役割分担やグループディスカッションの進め方につきまして審議したいと思っております。

まず、参加人数が確定いたしましたので、参加対象者につきまして先に確認をしたいと思っております。

事務局より資料1について御説明をお願いいたします。

事務局 では、資料1の説明に入ります前に、市民の方の参加者について少しお話をさせていただきます。資料1を御覧ください。

資料1の国立市の欄の下3人、市民、市民、市民ということで3人分のスペースがあると思います。この3人の内訳ですけれども、これまでお話にありました公運審の委員から1名、要望書も頂きました市民の方1名、もう1人なんですけど、市議会議員で古濱議員という方がいらっしゃるんですけども、古濱

議員から依頼がありまして、1人付け加えさせていただいております。

市民の方の報告については以上でございます。引き続き、高橋から説明をさせていただきます。

事務局 では、引き続き資料1を御確認ください。こちらは公開資料になりますので、他市の委員と市民の方のお名前は伏せております。

出席者の人数について御報告いたします。資料の左下に参加者の人数を書かせていただきました。国立市の社会教育委員の9名を合わせまして、ほかの市の社会教育委員、事務局の参加者総数が、34名です。こちらは、国立市の市民の方3名を除いた人数になります。

このうち、名簿の一番上の副会長ですが、副会長は最初の冒頭で挨拶をいただきますが、挨拶が終わりましたら、所用のため退席となりますので、第一部の参加者は1名除いた33名です。第二部ですが、武蔵村山市の事務局2名が第一部のみの参加ということでお伺いしておりますので、第二部のグループディスカッションについては、こちらから2名抜いた31名が参加者となります。

資料1の参加者の説明は以上になります。

生島議長 ありがとうございます。

確認なんですけれども、この人数というのは、例えば第二部参加者数31名は、純粹に社会教育委員の数が31名という、あと事務局ですね。ですので、市民の方3人が入れば、ここにプラス3ということで、34名になるという理解でよろしいですか。

事務局 はい。

生島議長 ということになります。そういう意味で、今回の研修会の対象になっている社会教育委員及び事務局の人数が31名、特にグループディスカッションをする際には31名ということで、大体40名ぐらいを見越していたところ、まだ人数に余裕があるということですので、お申出のあった公運審の方、そして、さらには市民の方もお受入れしたいということで、よろしいでしょうか。

ちなみに、今、公運審の方はそうですし、プラス、当初御意見もいただいた、お申出のあった方は1名だったんですが、もう一方の議員さんという方も、この間傍聴に来られていたことでこの情報をお知りになっていたという経緯があるということは、申し添えておきたいと思っております。

では、トータルで、第一部の参加者が36名、第二部のディスカッションの参加者が34名ということで進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

続いて、ブロック研修会の当日の役割分担やグループディスカッションの進め方につきまして審議していきたいと思っておりますが、まず初めに、役割分担のことについて、事務局からお願いいたします。

事務局 事務局です。

資料2のタイムテーブルを御確認ください。こちらは当日のタイムスケジュールと役割分担について書かせていただいたものです。

当日ですが、司会や受付についても委員の皆様に御協力をお願いしたいと思っております。

こちらの表ですが、表の一番左側が時間軸で、その隣が内容、その隣が詳細という形で書かせていただいております。

まず、左側の時間軸を確認していただければと思いますが、前日も御案内し

たとおり、当日は社会教育委員の皆様は、12時半にこちらの会場である会議室に集合をお願いいたします。開会は13時半ですが、30分前の13時から受付を始めますので、その15分前の12時45分に会場案内の方はご準備をお願いいたします。

会場案内ですが、5名の方をお願いできればと考えております。1階の入り口辺りから3階のこの会場まで御案内するようなイメージでおります。

13時から受付を開始しまして、受付については2名の委員の方をお願いできればと、プラス、事務局1名が入る想定をしております。

また、議長は開始すぐ挨拶がございまして、司会の方もすぐに進行に入ってくださいようになりますので、会場案内と受付に関しましてはほかの委員の方々に担当していただけるとよろしいのかなと思っています。

1時半開会になりますので、その5分前に議長と司会の方はスタンバイしていただいて、2分前には皆さま全員、会場に御着席いただいて、それ以後の受付に関しましては事務局のほうで引き取らせていただければと思っています。

司会ですが、こちら、すでに名前を書かせていただいております。事前に議長とも相談の上、ぜひとも小菅委員にお引受けをお願いできないかなというところで、案として書かせていただいたところです。案となりますので、この後、こちらも含めて御議論いただけたらと思います。

また、資料3のほうを御確認いただきますと、司会進行の台本、シナリオとなります。当日はこちらの台本をお読みいただくような形で進めていただければと思います。

タイムテーブルのほうに戻らせていただきまして、13時半に開会となりまして、最初に生島議長から開会の挨拶をいただきまして、その次に、小金井市の副会長である主催者挨拶が入ります。その次は、開催市ということで国立市教育長に挨拶をお願いしております。

挨拶が終わりましたら、13時40分から第一部、事例報告です。

資料3の1枚目をおめくりいただいた裏面に、第一部の進行の流れを書かせていただいているところがございます。最初に、議長から、研修会のテーマや趣旨というところを5分程度で説明をいただきまして、その後、各団体の事例発表等をお願いできればと考えております。

タイムテーブルのほうを御確認いただきまして、13時45分から、事例報告1として、国立市公民館と一般社団法人眞山舎、その後事例報告2のくにたち富士見台人間環境キーステーション、3で国分寺市の公民館というところです。それぞれ20分間で、14時45分から質疑応答ということで10分間の時間を設けさせていただいております。こちらの時間については、当日の進行次第で5分になるなど、調整も必要かなと考えています。

14時55分から10分間休憩を挟み、15時5分から第二部のグループディスカッションが開始となります。グループディスカッションの進め方については、また後ほど御案内できればと思いますが、グループディスカッションはファシリテーターを委員の皆様をお願いできればと思います。そのグループ表についても、後ほどまた御説明させていただければと思います。

タイムテーブルと役割分担についての説明は以上になります。

生島議長 ありがとうございます。

今御説明いただきましたが、当日の大筋の流れ、大きくA3に出していただいておりますけれども、こういった流れになります。

それから役割分担。まずは開始前のところで、受付と会場誘導に入ってくださいということ。それから、会が始まった後は、基本的に中に入ってください一緒に聞いていただき、さらに、グループディスカッションのほうで、各グ

グループに入ってできるだけファシリテートをお願いしたいというふうなことで、分担をさせていただいております。

事前に事務局とも私、お話しさせていただいたんですけども、役割分担という意味では、グループディスカッションに入ったときのファシリテーターも説明してしまったほうが役割分担になるかなと思いますので、そっちも併せて高橋さんのほうで御紹介いただけますか。

事務局 そうしましたら、資料4の御確認をお願いします。グループディスカッションですが、他市の委員の方と事務局の方の御希望を確認して、振り分けております。参加者が全部で34名になりますので、登壇者が1グループに対して最低1名入るような形で、5グループに分ける想定です。34名なので、1グループ7名、もしくは1つだけ6名のところがあるということになります。

おおむね第1希望通りに振り分けておまして、ただ、Eグループの国分寺市公民館のところはどうしても少し人数が多くなってしまったので、全体のバランスを考えて、国分寺市の委員の2名の方には第2希望というところで振り分けさせていただいたところですよ。そのほかの方は第1希望となっています。

国立市の社会教育委員の皆様に関しては、事前に議長と相談させていただきました。こちらでグループ分けさせていただいたところですよ。御確認いただいて、お名前の前に二重丸がついている方は、ファシリテーターとしてメインでお願いできればと思います。お二人入っているところはお二人でやっていただくようになりますが、二重丸がついている方がメインとしてお願いできればと思います。

グループディスカッションでファシリテーターの役割のところ、内容も……。

生島議長 いや、ここで。ありがとうございます。

つまり、小菅委員に司会をお願いしたいということで考えていたところもあるんですが、プラス、ファシリテーターでこういうふうな役割分担をした上で皆さんに役を持っていただければということで考えていたところですよ。できるだけ、特にグループディスカッションする上では、皆さん方の関係性であるとか、これまで関わられているところがあれば、そういうことを優先して入っていただいたほうが進めていただきやすいかなというふうに思ったり、いろいろ何かこちらで想定しながら考えたわけですが、どうでしょう。

まず、特にグループディスカッションの司会、やってただけそうかということをお先に皆さん方にお諮りできればと思っているんですけども、いかがでしょうか。恐らく皆さん、不慣れだからとかおっしゃるかとも思うんですけども、そこは本当に皆さんでフォローし合って。参加者の方々も御意見いただけるかとも思いますし、恐らく登壇者、御報告いただく方々が一番慣れておられると思いますので、うまくそういうところでキャッチボールをしていただきながら進めてもらうということで、ぜひ担っていただければと思っているんですけども、いかがでしょうか。

よろしそうですね。お願いできますでしょうか。

栗畑委員 よろしいと思います。

生島議長 よろしいですか。では、ぜひよろしくお願ひいたします。ちょっとこちらで当てはめさせていただきましたけれども、よろしくお願ひいたします。

では、もう一つ、会が始まる前に誘導それから受付ということで、これはもう名前を入れちゃったほうがよろしいですね。

栞畑委員 その前に一つ質問してよろしいですか。

生島議長 はい。栞畑委員、お願いいたします。

栞畑委員 会場のレイアウトみたいなものはまだ決まってないんですか。第一部はこういう席次にする、第二部のときは、10分間の中でテーブルを動かしたりとかあり得るのかなと思っているんですけども、その辺のイメージ。それによって、結局、我々も手伝わなきゃいけないということですね。もっと言うならば、あとは、本当に細かいところなんですけど、国立市役所ということでみんな大体来ると言うんですけども、歩いてくるかバスで来ると言うんですけども、例えば何か案内板も併用して用意するのか、単に我々案内係が何かを持ってやっているのかとか。先ほどの説明だと、1階から3階まで御案内するというのは、そうすると、ついてこなきゃならないのかということになるんですけども、でも、人数からいくとそれじゃ足りないような気がするから、例えば3階と1階に立っていただければいいとか、2階にも立てる。そういうことになるから、レイアウト図みたいなものはまだ作ってないのか。

生島議長 事務局、お願いします。

事務局 事務局です。

今、2つ御質問あったかなと思います。

まず2つ目のほうなんですけれども、会場の案内係につきましては、各市には地図ですとかも含めてお送りしていますので、一番の御案内というのは、休日の市役所ですと、今日と同じなんですけれども、東側の入り口しか開きませんで、正面であったり西側の入り口が開かないというのがございますので、その辺りに人を立てて、東側から入っていただいて3階にということの御案内。すみません、まだ細かいところは決めてはいないんですけども、その辺りの御案内をしていただくということが主かなと想定をしているところでございます。

もう一つが……。

栞畑委員 第一部と第二部の会場のレイアウト。

事務局 そうですね、会場のレイアウトですけども、すみません、本日、資料としては用意してないんですが、この会場になりまして、事務局で1回机を並べてみて想定したところでございます。

第一部から第二部の転換というのはないような形でいければなと思ってまして、もう第一部の時点から5グループ、テーブルを2つずつぐらいですかね、島をつくって、そこに座っていただいている中で第一部も聞いていただこうと思っておりますので、第一部から第二部の転換というのはない想定でおります。

足りていますでしょうか、回答。

栞畑委員 じゃ、もうちょっと。そうすると、5つのグループの島があると。発表する上座は向こうになりますか。

事務局 そうです、向こう。

栞畑委員 向こうに、発表する演壇じゃないけどあって、発表者以外の方々は、委員

会みたいに席を設けられている。こっちかこっちか分からないけど。

事務局 発表以外……。

生島議長 報告者、御報告いただく。

事務局 報告いただく方は、今の傍聴席のある辺りに席を設けて座っていただく。

栗畑委員 分かりました。あと、受付も恐らくテーブルだと思いますけれども、それは廊下に出すということですか。それとも、この中で、受付のテーブルを。

事務局 この部屋の後ろのほうに少しスペースが取れるかなと思いますので、後ろのドアのに入った辺り、内側にテーブルを1個設けて受付ができるかなと。

栗畑委員 この辺ということですね。なるほど。ということは、最後はもう会場ここですよという、いつも会議をやるような立て看板があつてという。

事務局 そうですね。

栗畑委員 最後に一つ。第2土曜ですけれども、そのときは市役所は開庁している日、第2と第4は。

事務局 ごめんなさい、開庁日なので、そうか、正面も西側も開いている日でした。

栗畑委員 たしかそうだと思ったから。ということで、立つ位置も微妙に変わってくると思うんですよ。だから、バスで来る人、そして、もしかしたらタクシーでまどまって乗ってくる可能性もなきにしもあらずなので。くにごっこで来ることはないでしょうけど。というイメージで、5人でとにかく、想定される場所に立って案内すること、迷わないようにすべきだということだけだと思うんですね、心がけるのは。
以上です。

生島議長 ありがとうございます。非常に詳細な、もう配置計画をイメージできるように御説明いただいて。

栗畑委員 すいません。いつもこういうイベントをスポーツ協会で作られているもので。

生島議長 ありがとうございます。

そういったところで、受付をお二方、そして会場案内、適宜立っていただくというような感じになりますけれども5名。で、私と……。

栗畑委員 もう一つ、いいですか。我々、集合は12時30分で、私たちについては名札か何かは用意していただいている、それとも、なし？

事務局 皆さん参加者の方には、名札まではいかないんですが、ラベルみたいな、昨年昭島市で出ていただいた方はイメージが湧くと思うんですけれども、御自身の名前を書いてそれを服の上に貼るような、ラベルシールのようなものを皆さんつけていただこうかなと想定していますので、国立市の社会教育委員の皆様

に関しても、同じ形で問題なければ対応させていただければと考えております。

生島議長 案内……、きっと栞畑委員も同じことを考えているのかと。言っていたければ。

栞畑委員 去年の事例でいくと、あのラベルは剥がれて行方不明になっちゃうケースが多いので、できればぶら下げ型を、安いものですから。名前も分かってるでしょうから、事前に打てると思うので、ぶら下げ型がいいと思うんですよ。なかったら、市役所にあると思うんですけども、スポーツ協会にいっぱいありますからお貸ししても構わないんですが。やっぱり、あのラベルは私はやめたほうがいいと思います。

生島議長 そうですか。ちょっとそこは、逆に、私がラベルのほうがいいんじゃないというふうにお話ししたんですね。というのは、この間の昭島の場合は結構動いたりだとかがあったので、外れやすいということもあったかと思うんですけども、今回着座したらそのままなんですよね。もう一つ、今も後ろを向いて国立の市役所の方々の名前を見ていただくと分かるように、見えなくなっちゃうんですよね、座ると。なのでシールのほうがいいかなというふうなことで、今、シールという提案を事務局のほうからさせていただいたところではありました。

それから、もう1点、違う意見だったんですけども、案内係に例えば腕章みたいな、案内係ですよというのがあるかなというのを確認できればと思ったんですが。

栞畑委員 一つ。それ、去年の例も含めて、まず、男性の場合、大体ブレザーとかを着てくるんですけども、女性の場合、洋服が様々ですから、それで何かちょっとつけにくいようなのも二、三あったような記憶があります。これは確かに座ると見えなくなりますけれども、だったら名札という手もあるかもしれませんが、ここはそんなに僕、こだわりませんけれども、ただ、案内係も兼ねますから、我々についてはやはり名札はつけたほうがよろしいんじゃないかなと。腕章でもいいんですけど。腕章がなければ名札。ただ、腕章もきっと、社会教育委員なんていう腕章はないでしょうから、市の職員だとすると、本当にこのイベントの会の関係者なのかどうか、ほかの市の社会教育委員の方々に見分けがつかないわけですよね。そこだけです。

つまり、本当に細かいことですけども、ちょっとしたことをやることで、気配りの国立市ということはやっぱりイメージづけるかなとは思っています。

矢野副議長 私も栞畑委員のおっしゃっていることよく分かります。たまたま先週の土曜日に東京都公民館連絡協議会委員部会の研修会が西東京市の柳沢公民館でありまして、そこはシールでしたが、やっぱり取れました。シールはチープな感じがするんですよね。取れて、剥がれて、汚らしい感じなので、できれば、栞畑委員がおっしゃったように、名札をぶら下げたほうがいいかなと思います。

栞畑委員 もっと高級なのは、名札の後ろにクリップがついているタイプはここに挿せるよね。それならばもう絶対に万全だとは思う。

生島議長 分かりました。御意見で、名札を用意していただくということでよろしいでしょうか。できるだけ上のほうで見えるような形にさせていただくということ

がいいかなと思いましたがけれども、よろしいでしょうか。

案内係も何らかの、案内係だというのが名札でも何か分かるような形でいうことでしていきたいと思います。

ありがとうございます。

それでは、ほか、確認よろしいでしょうか。

では、あとは、会場案内とそれから受付等はまだ、機械的にといいますか、やっただけの方にお名前を当てはめていきたいと思いますが、小菅委員は司会の関係がありますので、ここでは名のりを上げないでいただいて、司会に専念していただくということで、ほかの方、どこからでも結構です、私ここやりますというふうにいただければと思います。

栗畑委員 僕、近いので、会場案内で。

生島議長 お願いいたします。では、栗畑委員と……。

根岸委員 私も会場案内。

生島議長 お願いいたします。ほかは。

加藤委員 全員やるんですね。

生島議長 そうですね。全員どこかに、皆さん入っていただいて。

加藤委員 なら、受付やります。

生島議長 はい。加藤さん、受付で。

中田委員 じゃ、私は会場係をします。

生島議長 お願いいたします、中田委員。

寺澤委員 どっちでもいいです。

矢野副議長 どっちでもいいです。余ったところで。

生島議長 谷口委員が今日いらっしゃってないので。どっちがいいんだろう。
じゃ、寺澤委員、受付をお願いできますか。

寺澤委員 はい。

生島議長 矢野委員、会場案内、お願いいたします。

矢野副議長 はい。

生島議長 そして、谷口さんにもここに入っていたきたいと思います。

ちょっと確認ですがけれども、会場案内、栗畑委員、根岸委員、中田委員、矢野委員、谷口委員。そして、受付が加藤委員と寺澤委員、お願いできますでしょうか。で、司会を小菅委員にお願いするということで進めさせていただきたいと思います。

それから、小菅委員には、司会をお願いするという事で一応台本を作っていていただいております。多分私も何か書いていただいているんですけども、少しアレンジも加わるかなとは思いますが、大筋ということでこのような感じで進めていただければと思います。お願いいたします。

では、タイムテーブルと進め方につきまして、そして役割分担につきましてよろしいでしょうか。

加藤委員、お願いいたします。

加藤委員 以前、お話あったかもしれないんですが、グループディスカッションの事例報告についての感想などというのはもう、各グループのそれぞれの事例発表してくださった方の話を中心にということに振り切ってしまうって問題ないかどうかという。伺うこととして。

生島議長 それは、感想とかというのは……。

加藤委員 グループディスカッションの中で、感想とか質問など、事例報告を聞いてみたものについて伺うとなっているんですけども、それについて、全体として、聞いた3者の方について話を伺うのか、もうとにかく、そこについてもらった方に振り切ってしまうのかという、どちらに重きを置いたほうがいいかなと思っております。

生島議長 分かりました。今御質問頂いた件、ちょっと次に話をしていきたいと思っておりますので、まずは役割分担とタイムテーブル、よろしいでしょうか。

では、今加藤委員から御質問ありました、グループディスカッションの進め方ということにつきまして、事務局から御説明いただく前に、加藤委員の回答を先に言ってしまうと、振り切っていただいていると思います。今回、御報告を受けて特にこの人に話を聞きたいというところを希望を取ってグループ分けしていますので、それぞれのグループに分かれながらも3者平たく聞くというよりは、特にそのグループの、御報告された1つの希望を出されたグループのテーマについて議論していただければと思います。

加藤委員 承知しました。

生島議長 では、グループディスカッションの中身につきましてお願いいたします。

事務局 資料2のグループディスカッションの欄のところを御確認ください。

グループディスカッションですが、グループ発表を除いて35分間を予定しています。内訳ですが、最初の5分間で、グループの中での自己紹介と、最後に発表いただく発表者の方を決定していただきます。自己紹介に関しては、限られた時間ですが、1人30秒程度で、所属とお名前と第一部を聞いた一言感想というところで順番に回していただければと考えています。

その後、30分間でグループディスカッションを行っていきますが、具体的にどのようなことを話していくかという内容としては、①から③で設定させていただきます。

まず①として、事例報告を聞いてみた感想であったり、登壇者の方が1名入られるので、その方に関する何かもっと聞きたいことであったりとか、そういった時間に使っていただければと考えています。

②として、事例報告に触発されて考えたこと、気がついたことと書かせていただいたところですが、思い浮かんだこと、新しいアイデアなど事例報告を聞

いた上でどのようなことを思い浮かんだかといったところを自由に議論いただきたいと思います。

最後に③として、今回の研修会のテーマとして設定した「すべての市民が学び続けられるまち」を実現するための今後の展望を議論いただければと考えています。このテーマを実現するためにこのようになったらいい、このような視点があったらいいのではないかとといったような展望やそれに対して自分自身がどのように関わっていけるのかといったところを議論いただくという流れで案を作成しております。

こちらで30分間使っていただきまして、その後、各グループでどのようなお話が出たかというのを発表していただくようにしたいと思います。発表形式は、各グループで自席で立っていただいて、マイクを持って発表していただくような形式を想定しています。1グループ2分程度で、全部で10分程度というところで考えています。

こちらは、参考にお目通しいただければというところで、資料5です。こちらが、資料番号はないんですけども、スライドが4分割になっているものとして、当日に投影するスライドの資料になります。なので、司会の方にグループワークの進め方など、最初に説明いただくのですが、その際に、これらのスライドも投影しながら進めていただく。皆さんファシリテーターをやっている間も、前を見ていただくとうような項目が書いてあるということを想定していただければと思います。

グループディスカッションの進め方については以上になります。

生島議長 ありがとうございます。

今事務局から御説明いただいたとおりなんですけれども、グループディスカッションを進めていく上で、やっぱり投げかけのことをあらかじめ共有しておいたほうがいだろうということで、このような流れを案として出させていただきました。

この後、皆さん方からも御意見をいただいて、修正していくであったり、もう少しこういうような投げかけにしたほうがいいんじゃないかというようなことがありましたら、御提案いただければ思っているんですけども。時間も限られているということと、それから、やっぱり、集まっている顔ぶれとか話の流れ、また、報告を受けて、やっぱり皆さん方の御意見をできるだけ引き出せるような形でというふうには思っています。ですので、①を10分間、②を10分間、③を10分間みたいなのではなくて、もう話の流れでどんどん展開していただいているといいですし、中には、展望というふうに③に書いていますけれども、そういうことであらばうちではこういうふうに行っているよというような事例が紹介され合ったりすることもあるかとも思いますので、その辺は有意義にディスカッションができて進められれば、それを回していくための一つの切り口だというふうに思っていたいただければと思います。

まず初めに自己紹介。それから、そこで何か感想を言い始めちゃうと、一巡するのにえらい時間がかかっちゃうということがあり得るかと思しますので、まずは一言にさせていただいて、その後、フリーにどんどんディスカッションしていただくというのがいいかなと思っていたところでした。

②、③という形で切り口も想定したところではありますけれども、まず、この進め方というか投げかけといったことにつきまして、あと、ファシリテーターを今もう役割分担をさせていただきましたので、自分のところだったらこれはちょっとやりにくいなとか、もっとこういう切り口のほうが絶対にいいんじゃないかみたいなことがありましたら、ぜひ御意見いただければと思うんですけども、いかがでしょうか。

矢野副議長、お願いいたします。

矢野副議長 議長おっしゃったように、これは基本として押さえておいて、実際は、そのグループの事例報告した方と、出席者がどういう方かによって随分変わりますし、自己紹介が非常に興味深い場合もありますので、自己紹介がちょっと長いけどそのこと自体がすごく大事な場合もありますし、様々な場合がありますので、あくまで一つの目安ということで、その場その場で適宜、臨機応変に変えていきながら、時間内で収まるようにということでもいいのかなとは思いますが。

生島議長 ありがとうございます。

そうですね、特にここの中だとディスカッションのメンバーだけの話になっちゃいますけれども、実際には御報告いただいた方にも入っていただきますので、質問があったりだとか確認事項もあったりということもあるかと思えます。

それから、すみません、一つ言い忘れたんですが、自己紹介を一通りしていただいた後に、ファシリテーター以外で、最後の全体会になったときの、グループの中でこんな話になりましたよという報告をしていただく方を1人、先に決めておいていただくというふうにお願ひできればと思います。これはぜひ国立以外の方にお願ひできればということ。でも、最後になってみんなでシェアする時間になっていきなり、はい、あなたやってと言われても、皆さんなかなかお引受けいただけないかとも思えますので、あらかじめ自己紹介の後に決めておいていただいたほうがスムーズかなと思いました。

矢野副議長 確認ですが、発表者の中に事務局の方とか市民の方が入ってもよろしいんですか。

生島議長 それは問題ないかと思えます。

矢野副議長 分かりました。

加藤委員 近いところで質問なんですけれども、ファシリテーターとして振る舞うべきなのか、参加者としても振る舞うべきなのかというところは、どうなのかという。要は、2人入っていて、メインの人間が主にファシリテーションしつつ、例えばうちだったら、栗畑さんにむしろ参加者として話してもらったほうが意見が出やすいという話なのか。2人ともファシリテーターだと、一方はどちらかという参加者目線から話をしてもらうのかによって、結構進め方が違うなと思って。その辺、どうでしょうか。

生島議長 ありがとうございます。

私の意見を言わせていただくと、そこももうグループの雰囲気次第かなとは思っているんですけれども。まず、メインの方にはファシリテートというふうにしていただきつつ、ここは先にちょっと呼び水を出したほうがいいのかということであればぜひサブの方が一参加者になっていただくとか、その辺はグループの雰囲気次第でやっていただければと思います。

加藤委員 承知しました。

生島議長 栗畑委員、お願いします。

栗畑委員 確認ですけれども、要は、ディスカッションの冒頭、自己紹介が終わった
らば、最後の発表者を決めるときに、その辺のところはきっとファシリテータ
ーさんが司会みたいな形になるんだと思うんですが。いや、ちょっとまた見な
がら、私が担当するDグループというのは、東大和市議長さんが入って、立川
市の会長さんも入っているという、結構重いのと思う。でも、これはこれで、どん
な方か分かりませんし、また、相手が学生さんですから、ある意味では面白い
のかなと。

つい先週ですか、6チャンネルで、誰も見ていませんかね、そこが紹介され
たんですよ。

生島議長 ああ、そうですか。

栗畑委員 ちょっと外れるかもしれませんが、6チャンネルで、私、家に帰っ
てお風呂に入ろうと思ったら、家内に呼び止められて、ちょうど谷保をやっ
ているよと。どこかの企業が調査した結果、住みたい町ナンバーワンだそうです。
そういった中で、むっさ21商店街の中でサンバをやっている話。その中で、
ちょうどこの人間環境キーステーションが出て、ランチを地元の人が食べに
来ている、そんなことをやっていて、たまたま見ている人がいたらきっとそう
いうのも話題になると思いました。あれが9時台の何かニュースの企画だったも
んですから、つい1週間前にやった谷保の商店街のサンバもちゃんと出ていま
したから、しっかりと取材に来ています。

生島議長 ありがとうございます。

特に人間環境キーステーションにつきましては、2グループに分かれてお話
しいただく形になるかと思うんですけれども。こちらのほうは学生さんに入っ
ていただくということで、若い世代の着目というのはきっと、社会教育委員さ
んすごく興味あるところかと思うんですけれども、一方で、若い世代の方々も
ここで地域の中で様々な地域の人と関わりながら学んでいる姿というのもある
かと思しますので、ぜひそんなところを共有していただいて、若い人に来て
もらえればいいだけじゃない、若い人たちの学んでいる姿というのでも共有で
きればと思います。そういう意味では、加藤委員と栗畑委員にキャラクターを出
していただいて進めていただければと思って、配置させていただきました。よ
ろしくをお願いします。

ほかに何か、特に内容、グループディスカッションの進め方。本当に、状況
に応じてというようなことではあるんですけれども、そうはいつでも、ちょっ
と統一的に視点として出しておきましたので、もう少しこんなこともいいんじ
ゃないかというようなことでも、ここの場で共有しておけば、ファシリテート
しやすいかなとも思いますので、何かありましたら。

小菅委員、お願いいたします。

小菅委員 小菅です。2つあります。

まず1つ目は、事例報告の際に、事例者がパワーポイントのようなものを使
って発表されると思うんですけれども、それはハンドアウトとして配付される
のか否か。配付されるのであれば、お手元に資料を見ながらグループディスカ
ッションできると思うので、進行が変わってくるんじゃないかと思いました。

それから、2つ目は、結論を出すディスカッションではないとは思って
すけれども、総評的なものをおっしゃる最後の場面に議長が登場されますか。そ
れとも、閉会の言葉で副議長、矢野さんが最後の総評的なことをおっしゃられ
るのか、どういう想定なのか教えてください。

生島議長 ありがとうございます。

1点目のハンドアウトですけれども、私は出る想定で考えていたんですが、事務局、依頼の際に何かお伝えしていることがあれば。

事務局 特に依頼の際には指定はしてない状況ですが、資料がもうすぐ出てくるタイミングになりますので、ご提出いただいた際に、配付させていただく旨をお伝えさせていただいて、可能であれば参加者へ配布するという形を取らせていただければと思います。

生島議長 ありがとうございます。何らかの資料は出ると思いますし、投影されているスライド全てじゃなくても、例えば、これは配付されてはよくないというようなスライドだけ抜いた形ででも、何かあればやっぱりディスカッションの材料になりますので、ぜひその辺のやり取りをしていただければと思います。

それから、総評的な点でどうなっているかというようなことなんですけれども、私の思い込みだったんですが、最後、閉会の挨拶をしていただく際にちょっと一言添えていただければというふうに思っていたところで、矢野副議長にお願いできればと。でも、本当にこれ、最後の最後の挨拶になりますね。でも、そんなようなことも含めてお願いできればと。

矢野副議長 結論めいたことは言えませんので、このような話があって、今後も進めていきたいと思います、そんな感じでしょうか。

生島議長 そうですね。そのぐらいで。司会をやっていただく立場からすれば、そういうのがなくて終わっちゃっていいのかなということかなと思ってはいるんですけれども、ここのおり、活発な意見交換ができましたでしょうかという、あまりにも投げやりな感じもあるかなとも思いますが、もう少し加えていただいて結構なんですけれども、当日の雰囲気や酌んでいただいて。最後、多分、次期の幹事市の方も何かちょっと触れられると思いますし、最後に副議長のほうでも、全体的なその日の様子は振り返られるかなと思います。かといって、あまり時間もないので、そんなにいろんな人がまとめたりということはせずに、これで済ませたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

小菅委員 分かりました。ありがとうございました。

生島議長 私も去年、同様の会議で、途中どうしても抜けなければいけなくて、中田委員にお願いしていったんですけれども、当日の雰囲気を振り返りながらコメントをした記憶があって、読み上げていただきながらと思ったんですけれども、中田委員、去年の様子をちょっと、どうでしたか。覚えておられますか。

中田委員 ええ。ただ、途中で抜け出すのにちゃんと当日の内容を踏まえた原稿を用意していただいて、私はほとんど読むだけだったので。恐らく、その日の全体についての感想を国分寺市の次期幹事の方が言うてくださると思いますので、それと全く重ならないように、でも多少似たような形で副議長が閉会の言葉と、そんな感じになるんだろうなと思っています。

矢野副議長 高度な内容ですね。

栗畑委員 僕は、矢野副議長はアドリブが利くと思っていますから。本当、適任だと

思っています。

生島議長 どうぞよろしく願いいたします。
小菅委員、いかがでしょうか。

小菅委員 大丈夫です。ありがとうございます。

生島議長 ありがとうございます。
ほかにはいかがでしょうか。よろしそうですか。
では、今日、会議の終了時にでも少し、同じグループのファシリテーター同
士でお話ししていただければと思います。
栗畑委員。

栗畑委員 心配症なので、細かいことをまた事務局に質問します。

生島議長 とても大事なことです。

栗畑委員 発表者お三方は何時頃来られるんですか。というのは、これから原稿が出
るといことでしたけれども、もし使うとしたら、プロジェクターじゃなくて
あの画面ですよ。それとも、別途もしこれから用意するというのはできる状
態なんですか。つまり、あれを使いたいとかなった場合、それなりにほとんど
はちゃんとつながるんですけれども、つながりませんでしたじゃ全然もう、話
すだけになっちゃいますから、そういうようなことも含めて、僅かな20分の
ためですけれども、来て事前にしっかりとある程度は、機器大丈夫だねという
確認とかそういうのをしっかりとされているんですが、大丈夫ですか。

生島議長 かみ砕いてお聞きしますけれども、今、事前に提出していただくのはパワ
ーポイントですか、それともPDF版で頂くような感じですか。

事務局 こちらの想定としてはパワーポイントの資料を。

生島議長 パソコンなんかは、こちらのパソコンを準備して、あらかじめそのパソコ
ンの中にデータを入れておいてというようなイメージでよろしいですか。とな
ると、御本人がいらっしゃる前にもう投映確認ができるということで想定して
もよろしいですか。で、御本人がいらしたら、本当に動くねというのを見てい
ただくということで、スムーズにそこら辺は確認できるようにということで。
栗畑委員、いかがでしょうか。

栗畑委員 であればいいけど。というのは、私も民間企業時代にどこかの大学で発表
会に同席したりしたことはあるんですけれども、たまたまその大学が用意した
パソコンでは、とてもいい映像がうまく映し出されなかったという事例があっ
て、そのときに研究者は自分のパソコンを持ってこなかったんですね、もう送
っちゃっているからいいなど。つまり、その辺の確認が。ですから、一番メイ
ンのいい絵が出なかったというような事例もあったのを経験しているもので
すから、ちょっとそこら辺は確認しておいたほうがいいかなと。

生島議長 分かりました。ありがとうございます。
とても大事なことなんですけれども、じゃ、そのような流れで、動くという
ことも事前に確認していただくということで。ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。
加藤委員、お願いいたします。

加藤委員 グループディスカッションで、ホワイトボードなんかを使うか、模造紙だけ使うのかというのはどうでしょうか。

生島議長 ありがとうございます。

グループディスカッションのときに、よくある何か掲示板みたいなやつとか、紙をまとめたり、作成したりするのかというようなことなんですけれども、事務局としては用意はしていただいている。ごめんなさい、私、イメージとしては、あまり使うつもりはなかったんです。というのは、書いていくほうだけに集中しちゃったりして、ディスカッションにあまりならなかったりするし、あれを作ったところで、みんなそれぞれ自治体が違うのに、まとめて何かそれを応用してやっていくかといったら、そういうステップにもならないので、基本的にはチャットというかディスカッションをしていただく、対話をしていただくことをメインにして。

加藤委員 じゃ、発表者の方も記録してということですね。

生島議長 そうですね。記録するための何か、A3の紙とか、書きやすいものは各グループに御用意いただくぐらいでイメージしたいと思いますけれども。それは、だから、みんなに見せて説明するというものではなくて、2分間ぐらいの発表用に記録しておいてもらうメモ用紙イメージというような形かなと想定しておりました。

この件に関してもぜひ皆さん方から御意見いただければと思いますけれども、いかがでしょうか。

矢野副議長、お願いいたします。

矢野副議長 もっとグループディスカッションの時間が長い場合は、書記も定めて、ボードを使うときもありますけれども、この標準時間ですと、それはなかなか厳しいので、書記を指名せずに、発表者がちょっとメモで書くぐらいという認識でよろしいでしょうか。

生島議長 はい。

矢野副議長 分かりました。

生島議長 栗畑委員、お願いいたします。

栗畑委員 私も、去年の昭島は椅子だけだったので、メモを取るのが大変だったんですが、今回はテーブルがあるということですから、紙があればいいのかなとは思っています。

あと、ちょっと外れますけれども、このグループ分けの中でよくよく考えると、私の所属するDは唯一6名ですが、ここは学生さんが2名入るんですね。だから、そういう意味では同じだなというふうに、規模感で。恐らく、もしかしたら、この間テレビに出た子なのかもしれないなとは思ったりもします。

生島議長 ありがとうございます。

そういう意味では、大きい紙とか何かそういうのは用意せずに、メモ程度で。

2分間しか御報告いただく時間がないですので、出た話題全部に触れていただくというよりは、印象的なこととか盛り上がったこととか、その辺りのことを少し御報告いただければと思います。

加藤委員 併せて、念のための確認なんですけれども、あくまでその場でのグループディスカッションをしていただいて、発表していただいて。でも、その会で基本的にはその話した内容はおしまいということで、問題ないですかね。後々それを何かフィードバックするとかいう話じゃなくて、もうそこで終了という感じですか。

生島議長 終了という……。

加藤委員 終了というか。だから、持ち帰って後日ここの場でまた少し話したりとかいうような、そういった材料にするかどうかというように。ブロック研修会がどういった位置づけなのか、ちょっと分かってないところもあるので。

生島議長 事務局、今、何か。

事務局 事務局の想定としましては、発表者の方からやっぱり、個人情報じゃないですけども、そういった込み入った情報が出る可能性もありますので、基本的にそういったものが含まれるディスカッションの内容ということ想定すると、この第二部のディスカッションその場限りの話題としていただいたほうがよろしいのかなと考えております。

生島議長 要するに、守秘義務的な内容に配慮が必要な場合はということかと思えます。ただ、研修会ですので、ここで学んだこととか考えたこととかというのは、ぜひそれぞれの活動に生かしてもらおうということはあるかと思えますけれども、あの人がこういうふうに言っていたみたいなそういうのはちょっとというようなことかなと思えます。

あと、今回のこの会議では、一応やっぱり、研修会がどうだったかというシェアは皆さん方とはしたいなと思っておりますので、この場限りというようなニュアンスですけども、ここではぜひ皆さんで、グループどうだったかとか、全体通してどうだったかという振り返りはしておきたいと思えます。よろしく願いいたします。

矢野副議長 あと、補足ですけども、事務局がお話しになると思いますが、12月14日の都市社連協の交流大会と社会教育委員研修会の中で、各ブロック研修会実施報告があります。そこでは総括的な話を報告することになっています。その後「社会教育委員活動記録」として冊子となります。

生島議長 この件に関して、先に案内していただいたほうがいいですかね。今、話題にありましたので。

事務局、お願いします。

事務局 事務局です。

12月14日に町田市で都社連協の交流大会と社会教育委員研修会が開催されます。国立市はブロック幹事市ですので、実施要項を御確認いただければと思いますが、真ん中のところに、各ブロック研修会実施報告ということで記載がございます。こちらが、ブロック研修会で具体的にどのようなことを行っ

たのかというのを、各市10分ずつで発表をするというものになります。

こちらは、パワーポイントの資料で発表させていただくのと、社会教育委員の活動報告という毎年度、出しているものがありますが、その中でも報告書という形で資料を作成することとなります。こちらは、1月末辺りごろに作成するようなイメージでおりますので、2つほど、事例報告を行うのと報告書を作成するというところがございます。

交流大会の出欠につきましては、委員さんの皆様に後日メールで確認を取らせていただければと思いますので、ぜひ、参加いただける方はお願いできればと思います。

生島議長 つまりは、こちら幹事市になっていて主催者側なので、要所要所で、こういうことをやりましたよという御報告の機会があります。だから、そういう意味では、完全にここで終わりということではないんですけども、ただ、ディスカッションで話した、特にちょっと配慮が必要というか、守秘義務が必要なことに関しては配慮していただきたいということは、これは冒頭の部分で、その場にいる皆さんと確認していききたいとも思いますけれども、よろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。ほかに。今みたいな話は、始まっちゃうとなかなか確認できないので、細かいことでも確認していただければと思いますが、いかがでしょうか。よろしそうですね。

では、今日のこの役割分担でもしも何か御不安が出てきましたら、事務局を通じて御質問いただければと思いますので、お願いいたします。

今、グループディスカッションの話がありましたけれども、全体を通しまして、スケジュール、役割分担、ディスカッション、よろしそうですね、皆さん。もう、あと11月9日にお目にかかるだけになりますけれども。何か最終的に確認しておきたいこと。

加藤委員、お願いいたします。

加藤委員 個人の話なんですけど、4時半から別件の打合せが入ってしまっていて、4時に終わって、少し片付けをお手伝いできると思うんですけども、すぐ出してしまうので、あらかじめ伝えておきます。

生島議長 ありがとうございます。

ほかはよろしいですか。

それでは、今日予定していたのはまさにこの部分ですので、議題はここで今日は終わりという形になるんですけども。

事務局 すみません。資料6-1と6-2の説明ができていなかったもので、失礼しました。

生島議長 お願いいたします。

事務局 資料6-1がブロック研修会開催要項ということで、皆様にもメールでお送りしているのと、かつ、参加される他市の方にもお送りさせていただいているものとほぼ同じものですが、こちらを当日、参加者の方に紙資料として配付させていただければと考えています。研修日程のところのタイムテーブルを皆様がお手元で確認していただければという意味で配付させていただきます。

続きまして、資料6-2ですが、最後感想など、皆様からアンケートのご協力をいただきたいということで、事務局でこちらを作成させていただいたと

ころです。こちらにも配付させていただき資料として、2点ございますので、共有で御紹介でございます。

以上です。

生島議長 ありがとうございます。

この要項は報告者の一つ一つの概要も載っていますので、タイムテーブルとともにあればいいかなとも思います。それから、アンケート。さらに、御報告者のハンドアウトがあればそれでということで、お配りするということをしたと思います。

ちょっと今、気づいたんですけれども、アンケートでWeb回答をしていたのは便利でいいと思うんですが、だとすると、おうちに帰ってからやっていただくような感じになるかと思うんですね。そのときに、あらかじめいつぐらいまでに出してもらって、1週間ぐらい、何月何日までをめぐりにお願いしますというのは入れておいたほうがいいかなと思いましたが、そこは入れておいていただければと思います。そうじゃないと、全部集計が終わってから、後になってすごく来ても困るかなとも思いますし。

栗畑委員 この「Web回答はこちらから」という脇に期限を入れてもらったらいいですね。

生島議長 そうですね。

矢野副議長 補足ですが、二次元コードをつけるとアンケート全体の回収率が低いんですよ。なので、お時間ある方はこの場でお書きください、お時間がない方はいつまでというふうに、分けてご案内されたほうがいいかなと思います。原則はここで書いていただきたいんですけど、お時間がない方は二次元コードというふうに。

生島議長 分かりました。

栗畑委員 もしそうならば、閉会の前に、5分延長してもいいからアンケートの記入時間をつくるとか。進行がうまくいったら。書いておかなくてもいいんですけども。少しありますから、アンケートを記憶の新しいうちにお書きくださいと。テーブルがありますから、書きやすいと思うんですね。去年の昭島の場合は、テーブルがなかったですから、後でねなんて言っちゃって。

生島議長 ありがとうございます。

進行の時間次第かなとは思いますが、もし、4時2分、3分前だったらちょっと時間を取るか、そうじゃなかったら、もう終わらせちゃって、ここで5分、10分、まだこのままでいきますから、どうぞ書いていってくださいというようなのを一言添えていただいて。それでもお時間ない場合にはWeb回答も御活用くださいというふうにしておいたほうがいいんじゃないかということで、よろしいでしょうか。

私たちの大学の研修だと、もう皆さんスマホとかパソコンのほうが早いと言って、その場で写真撮ってパソコンで入力というのが結構あるので、今の御意見というのはとても私は参考になったんですけれども。ありがとうございます。

加藤委員、お願いします。

加藤委員 上の本文のほうにも、Web回答があるということを書いたほうがいいん

じゃないかなど。逆に、書いてしまってからWeb回答があることに気づくという流れじゃないかと思ひまして。視点の誘導ですね。

生島議長 なるほど。ただ、できればこの場で書いていってもらいたいというがあるので、先にWeb回答だとすると、持ち帰られちゃってというのも、今のお話ですよ。

口頭で御案内いただくということでいかがでしょうか。

よろしそうですね。

結構細かい打合せがこのようにあるかと思いますが。

事務局のほうも確認しておかなければいけないことはいかがでしょうか。よろしそうですね。

ありがとうございます。

それでは、今日準備していました議題は以上になります。

あとは、11月9日、皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。いろんな方々に来ていただいて御意見を伺えるの、楽しみかなと思ひております。

それでは、次第3の事務局からの連絡事項に入ります。

事務局、お願ひいたします。

事務局 事務局です。

次回の会議日程と場所について御案内です。次回は11月27日の水曜日、午後7時から、こちらではなく、第4会議室になります。

次回は、答申について審議していただくことになりますので、前回の定例会の議論の中でヒアリングした内容を確認しながら、事実に基づいた形で答申をとるところで、そういった御意見もあったので、次回の定例会までにヒアリング内容や議事録を振り返っていただくということをお願いできればと思ひます。

公民館のヒアリングの中で、第33期の公運審の方針を参考に担当者が回答されていたので、こちらは今期第4回の定例会で資料として皆様に配付させていただいておりますので、併せて確認してきていただければと思ひております。少し前になるので、手元にすぐに御用意がない方は、市の公民館のホームページでデータでも確認することができますので、確認いただければと思ひます。

小菅委員に関しては、こちらを配付したときにはまだ委員の委嘱はさせていただいてなかったもので、この後お渡しさせていただければと思ひます。

次回のお願ひ事としては以上になりまして、最後になりますが、11月9日については、12時半にこちらに集合をお願いできればと思ひますので、皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上です。

生島議長 ありがとうございます。

今事務局からもお話があったんですが、次回の会議に関しては、答申案のことについて検討していきたいと思ひます。答申案の中でも、前回柴畑委員からも御意見あったとおり、インタビューのときと現状も変わってきているんじゃないかというようなこともありつつ、私たち自身もインタビューのときのことを大分忘れてしまっていたりとかもして、さらに、今、答申案を少したたき台をつくっていますけれども、そのたたき台をより膨らませていく意味でも、やっぱりもう1回、インタビューのときの様子というのはぜひ思い出しておいていただいて、答申案とも照合しながら検討してきていただくということが、議論が進めやすいかなと思ひておりますので、その辺のことをどうぞよろしくお願ひいたします。

何か御意見等ある方はいらっしゃいますでしょうか。あと確認事項、それから、何かそれ以外で御報告云々ある方、いらっしゃいますでしょうか。

よろしいですか。

では、今日はちょっと早いですけれども、研修会もこの後あるということで、ここで閉会にさせていただきたいと思えます。

それでは、次回は11月27日水曜日になります。7時から第4会議室になります。どうぞよろしく願いいたします。

これをもちまして本日の会議を終了いたします。お疲れさまでございました。

—— 了 ——